

報道用資料
2006年11月

- 会 期 : 2007年1月6日(土)～3月25日(日)
 休 館 日 : 月曜日(1月8日、2月12日は開館)、祝日の翌日(1月9日(火)、2月13日(火)、3月22日(木))
 開館時間 : 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 観 覧 料 : 一般250(150)円 20歳未満・学生150(100)円 ()内は20名以上の団体料金です。
 65歳以上の方、高校生以下の方、障害者の方は無料です。
 会 場 : 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館
 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-8-1 tel.0467-22-7718
 主 催 : 神奈川県立近代美術館

鉛筆や筆を手にして紙に最初の線を引くとき、画家たちの誰もが新鮮な悦びを覚えます。線を重ね、やがて形が生まれ、色を差していくと、画家それぞれの個性的な絵が生まれます。何かを写生するのであっても、頭のなかに浮かんだイメージを表すのであっても、絵の始まりを印すデッサンには初々しさがいきづいています。

墨の線、鉛筆の線、ペンの線、それとも色の線、画家たちは線の役割の大事さを知っていて、線の習練を怠ることがありません。安田靉彦、前田青邨、青山義雄、野口弥太郎、鳥海青児、四方田草炎、海老原喜之助、原精一、松本竣介、麻生三郎。神奈川県立近代美術館が所蔵する数多くのデッサンのコレクションから、デッサンの魅力をたっぷり湛えたこれら10人の作品を選びました。線だけで描いたもの、色に比重を傾けたもの。約80点のデッサンを通して、変化に富んだ線と色の扱いを楽しみながら、画家たちの悦びに溢れた絵の始まりを覗いていきます。



松本竣介《麦藁帽子の子供》1942年

■ギャラリー・トーク 3月10日(土)、3月21日(水) 午後3時～



海老原喜之助《船をつくる人々》1953年



四方田草炎《霧積の溪流》1949年頃

美術館ホームページに掲載される下記のプレス情報をご覧ください。

http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2006r_drawings_watercolors.pdf

お問い合わせ先: 神奈川県立近代美術館 鎌倉 〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53
 tel.0467-22-5000 / fax.0467-23-2464 広報担当: 平井 展覧会担当: 稲庭
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/>